

## ■株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで  
定時株主総会 毎年6月下旬  
基準日 定時株主総会・期末配当 毎年3月31日  
中間配当 毎年9月30日

## ■株主名簿管理人及び特別口座の管理機関

三井住友信託銀行株式会社  
※2012年4月1日付で、中央三井信託銀行株式会社は住友信託銀行株式会社及び中央三井アセット信託銀行株式会社と合併し、三井住友信託銀行株式会社となりました。

## ■同事務取扱場所

〒540-8639  
大阪市中央区北浜4丁目5番33号  
TEL:0120-782-031 (フリーダイヤル)  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

## ■ご案内

### ○配当金口座振込サービスのご案内

配当金のお受け取り方法は、これまで「ゆうちょ銀行の窓口でのお受け取り」が「金融機関の口座への振込み」となっておりましたが、「金融機関の口座への振込み」については、平成21年1月の「株券電子化」によってお受け取り方法の選択肢が新たに加わり、利便性がさらに向上しました。

ゆうちょ銀行の窓口にて、配当金領収証と引き換えに配当金をお受け取りいただいている株主様におかれましては、「金融機関の口座への振込み」としていただくことで配当金のお受け取りが簡単で確実になります。この機会にぜひご検討ください。

なお、ご所有の株式の預け先によって、ご利用できるお受け取り方法が異なりますので、詳細についてはお取引の証券会社又は三井住友信託銀行までお問い合わせください。

### ○事務のお取扱い(電話お問い合わせ・郵送物送付先)

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号  
TEL:0120-782-031 (土・日・祝日を除く 午前9時～午後5時)

## ■今回の表紙

今回は、工場探訪05ページで紹介した、浮体式海洋天然ガス液化プラント向けボイラを掲載しました。このプラントは、陸上の液化施設までパイプラインを敷設する必要がないため、陸地までの距離にかかわらずガ田を開発できることから、世界中で数多くの建設計画があり、将来有望な事業のひとつです。



楽しく体験!陸・海・空のテクノロジーワールド

# カワサキワールド

Kawasaki GoodTimes World

## ■モーターサイクル・Zフェア開催!

当時の国産最大の排気量を誇るZ1誕生から40年。2013年2月5日～17日、常に市場にインパクトを与えてきたZの歴代機種がカワサキワールドに大集合!



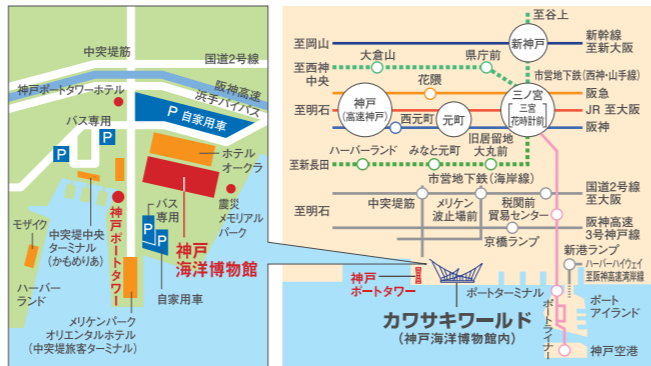
所在地 〒650-0042 兵庫県神戸市中央区波止場町2番2号  
開館時間 午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで)  
休館日 毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は、翌日に休館) 年末年始(12月29日から1月3日)  
お問い合わせ TEL:078-327-5401 FAX:078-327-5402  
<http://www.khi.co.jp/kawasakiworld/>

- 飛行機で  
「神戸空港」からタクシーで約20分
- 新幹線で  
「新神戸駅」からタクシーで約15分
- 電車で  
市営地下鉄海岸線「みなと元町駅」から徒歩約10分  
JR・阪神「元町駅」から徒歩約15分  
神戸高速(阪急・山陽)「花隈駅」から徒歩約15分
- シティープデ  
「地下鉄三宮駅前(南行)」乗車約15分  
「中突堤(ボートタワー前)」下車徒歩1分
- 車・タクシーで  
JR・阪神・阪急「三宮駅」から約10分  
JR・阪神「元町駅」から約5分  
阪神高速道路「京橋ランプ」から約5分  
ハーバーハイウェイ「新港ランプ」から約5分  
※周辺には駐車場(有料)があります。

■神戸海洋博物館入館料	大人	500円	小人(小中学生)	250円
-------------	----	------	----------	------

※入館料には、各種割引があります。※カワサキワールドの入場料は、神戸海洋博物館の入館料に含まれています。

## ■交通案内



川崎重工業株式会社  
TEL:078-371-9533(総務部株式担当)



この報告書は環境に配慮し、植物油インキを使用しています。



# Business Report

第190期 第2四半期[累計]

平成24年4月1日→平成24年9月30日

Top message

## 株主の皆様へ

第190期の現状と業績見通しについて

Works exploration

## 工場探訪 vol.3 播磨工場

現場のパワーに触れる旅

Kawasaki

川崎重工業株式会社  
証券コード:7012



第190期の現状と業績見通しについて

# 株主の皆様へ

川崎重工グループは、円高の長期化や中国の景気減速の影響などをうけ、2012年度第2四半期においては全体として減益となるなど、厳しい経営環境のなかにあります。そうした状況における当社グループの業績と今後の展望について、長谷川社長に聞きました。なお、第190期第2四半期(累計)の業績については、07ページ以下に記載のとおりであります。

—— 現在の経営環境についてどのように考えていますか。

世界経済は全体的には緩やかな成長が続くなか、米国の財政問題や欧州債務国問題の長期化が懸念されており、牽引役であった中国の経済成長が減速しつつあるなど、下振れリスクが高まっています。一方でインドや、インドネシア、タイなどの東南アジア諸国が堅調に成長を続けています。

わが国経済は、円高の長期化により新興国や欧米の競合企業との競争が激化しており、中国経済の減速もあいまって輸出企業を中心に非常に厳しい状況が続いています。そのなかにもあっても、高齢化に伴う医療・介護問題への対応や、東日本大震災からの復興本格化に伴い、将来のエネルギーのあり方が問われるなど、課題解決型の産業が新しい成長分野として期待されてきています。



—— そのような経営環境が当社グループに与える影響と今後の見通しについて聞かせてください。

今期は中期経営計画(「中計2010」)の最終年度となりますが、策定当初の前提為替レートを上回る円高が進行するなかで、2010年度、2011年度と当初計画を上回る業績を確保することができました。2012年度は、円高の長期化によりグローバルレベルでの価格競争が激化していることに加え、中国の建機市場向け油圧機器の売上が対前年度比で減少が続いています。特に中国経済は、これまでの過熱した成長から安定成長に収束する調整局面に入ったと見られており、2012年度の通期の業績見通しについては、売上高1兆3,000億円、営業利益360億円、経常利益500億円、当期純利益300億円に修正しています。当初計画に比べると減益にはなっていますが、この水準であれば「中計2010」で目指した成長軌道に乗ってきていると言えるでしょう。

また、当社グループには、ボーイング787航空機分担製造品の生産本格化や、カワサキグリーンガスエンジンをはじめとするエネルギー関連の受注拡大、東南アジアの成長に伴いレジャーバイクの販売が好調であるなど、今後の明るい材料もあります。

—— 第190期の業績見通しを達成するための取り組みを聞かせてください。

中国経済の減速に対して迅速に対応するとともに、海運市況の低迷が今後も長期化することを踏まえ、船舶海洋事業の人材を他の成長分野に再配置することを実行します。一方で、東南アジアなど堅調に成長する市場に対して経営資源を重点的に配分するとともに、今後期待される海洋資源開発分野を強化するため、その足がかりとしてブラジルにおけるドリルシップ建造等の合弁事業に参画し、造船所建設の支援を開始しています。

当社グループは、グループミッションである「世界の人々の豊かな生活と地球環境の未来に貢献する“Global Kawasaki”」の実現に向けて「Kawasaki 事業ビジョン 2020」を定めましたが、



その具体的な行動計画として次期中期経営計画(2013年～2015年)の策定に取り掛かっています。次期中計の最終年度である2015年度は「Kawasaki 事業ビジョン 2020」の折り返し地点にあたるため、ビジョンの実現を強く意識したアクションプランを設定したいと考えています。

—— 最後に株主の皆様へひと言お願いします。

当社グループが、将来にわたって持続的成長を遂げていくためには、株主の皆様からの一層のご支援とご協力が欠かせません。そのためにも、当社グループは、引き続きコーポレートガバナンスの強化と内部統制の充実に取り組んでいくとともに、企業としての社会的責任を果たしていくことを通じて、株主の皆様からの信頼に応えていくよう尽力して参ります。

2012年11月

はせがわ さとし  
取締役社長 長谷川 聡





**【播磨工場】**  
 兵庫県加古郡播磨町新島8番地  
 工場敷地 445千㎡  
 従業員数 406名(2012年9月現在)

**[主営業品目]**

- プラント・環境事業  
 鉄鋼構造物(LNGタンク等)、  
 土木・建設機械(シールド掘進機等)、  
 ボイラ(火力発電ボイラ等)、  
 プラント・環境保全設備(セメントプラント等)
- ガスタービン・機械事業  
 (機械ビジネスセンター)  
 船用推進装置(サイドスラスト)
- 車両事業  
 貨車、台車、タンク車

# 工場探訪

vol. 3  
播磨工場

## 現場のパワーに触れる旅

1971年、川崎重工は、瀬戸内海に面した兵庫県播磨工業地帯の一面に播磨工場を開設しました。同工場は、セメント製造プラント用など各種産業機械の工場としてスタートしましたが、その後、鉄鋼構造物(LNGタンクや橋梁などの大型製品)の生産を開始するなど、時代に応じ規模の拡大を続けました。今回は、様々な場面で人々の豊かな生活を支える製品を送り出す、重要な工場のひとつとして活躍する播磨工場をご紹介します。

### 時代に応じ、変化を続ける大型工場

播磨工場は、神戸工場で行っていた各種産業機械の生産規模拡大に対応するため、1971年に開設しました。同工場は国内有数の規模を誇る臨海工場で、大型製品の直接船積みが可能という特長を持ちます。工場開設後は、その特長を活かし、鉄鋼構造物の製造を開始するなど、時代に依りて施設を増設、業容の拡大を続けました。

現在は、LNGタンク、シールド掘進機など大型製品のほか、衛星フェアリング(ロケット打ち上げ時に衛星を保護する装置)など宇宙関連機器、船用推進装置や鉄道車両など、陸海空に及ぶ幅広い分野の製品を世に送り出しています。



H-II B ロケット3号機用衛星フェアリング

### 播磨発、様々な場所に足跡を残す製品群

播磨工場で生まれた製品は、様々な場所で活躍しています。例えば、東京湾アクアラインの建設にあたっては、播磨工場で製作したシールド掘進機が重要な役割を果たしました。また、H-II A/Bロケット搭載の衛星は、播磨工場で組み立てた衛星フェアリングに保護されて打ち上げられています。さらに、クリーンエネルギーとして注目されるLNG関連では、石狩市(北海道)で国内最大級のLNG基地向けLNGタンクを手がけるなど、多くの実績を有しています。

このように、「播磨発」の製品は、海底から宇宙空間まで届き、人々の豊かな生活を支えています。



東京湾アクアライン用シールド掘進機の搬出作業



# 播磨から日本・世界へ——

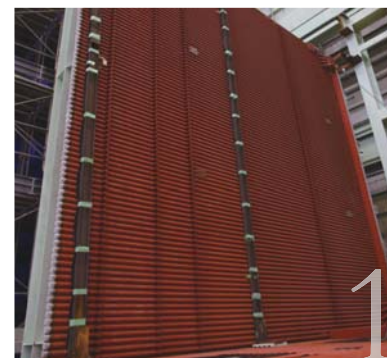
## 豊富な実績を支える多様な製品群

播磨工場は、プラント・環境カンパニー、ガスタービン・機械カンパニー(機械ビジネスセンター)、車両カンパニーの各事業の製品を手がけています。本紙面では、各事業部門における代表的な製品の製造工程をご紹介します。

### プラント・環境カンパニー

#### 世界初のプロジェクト向け、世界最大のボイラを製造中

当事業部門は、2011年、Shell社が建設する世界初の浮体式海洋天然ガス液化プラント「Prelude(プレリユード)」向けボイラを、仏のエンジニアリングメーカー・Technip社より受注し、現在播磨工場で製造しています。この浮体式海洋天然ガス液化プラントは、世界的なエネルギー需要の高まりから数多く計画されており、今後も積極的に営業展開を推進していきます。



メンブレンパネルの組立

#### メンブレンパネルの組立

今回製造するボイラは、管(チューブ)を集めて1枚のパネルにしたメンブレンパネルを播磨工場内の各工場小ブロックに組み立てた後、ボイラ大組立工場「総組立」(「ボイラの総組立」を参照)を行います。

#### 燃焼室や煙道の製作

ボイラの外観は、メンブレンパネルで囲まれた「燃焼室」と「煙道」で構成されます。「燃焼室」では、燃料(LNG)を燃やし、高温の燃焼ガスを発生させ、「煙道」には、熱交換するための伝熱管群が収容されており、高温の蒸気を生み出しています。ボイラ全体の高さは約17mで、これは当社が今まで多く手がけてきた船用ボイラ(約9m)を上回る大きさで、洋上で使用するボイラとしては世界最大を誇ります。



組立中の燃焼室



当社担当部分

「プレリユード」イメージ



ボイラの総組立

#### ボイラの総組立

総組立では、燃焼室や煙道、蒸気ドラムなどその他の構成部品を最終的にひとつにまとめていきます。2012年10月現在、1缶目は蒸気ドラムの搭載・管の取付作業を行っており、この後、各種機器の取り付けや、水圧・気密試験、耐火工事などを行います。2缶目も総組立を開始、着実に製作が進んでおり、計7缶を順次引き渡していきます。

### ガスタービン・機械カンパニー

(機械ビジネスセンター)

#### 世界トップシェアを誇るサイドスラスト

当事業部門は、サイドスラスト(船舶の離岸時の回頭や横移動などに使用)の製造を1965年から開始、現在では世界トップシェアを誇っています。2008年からは、播磨工場と同製品を製造しています。



チューブの溶接

#### チューブの製作

サイドスラストは、船体に横方向に開けられたトンネル内に装備されます。トンネルを構成するチューブは、平らな鋼板を切断、プレス機で円筒形にして、最後に溶接して製作します。

#### プロペラの組立

サイドスラストの主なパートはチューブ、プロペラ部(プロペラの角度を連続的に変化させることが可能)、ギヤケーシング部(動力伝達部)からなり、これらを組立・製作しています。



プロペラ部の組立作業



専用の機器に繋ぎ、検査を実施

#### 完成検査

ギヤケーシング部及びプロペラ部の調整、動作確認などを行います。これらの検査を経て梱包・出荷となります。

### 車両カンパニー

#### 物流に欠かせない貨車

当事業部門は、播磨工場で、貨車(コンテナなどを積載)、鉄道車両用の台車、タンク車(ガソリンを積載)などを製造しています。ここでは、その中から貨車をご紹介します。

#### 組立

当社の貨車は、ほとんどの工程を内製化し、一から組み立てています。ひとつひとつの部品を溶接して貨車全体を組み立て、台車の取り付け、塗装などいくつかの工程を経て、完成へと向かいます。



部品の溶接・組立作業

#### 出荷



トレーラーへの積込

完成した貨車は、完成検査の後、工場内のクレーンを利用してその場でトレーラーに積み込み、一旦、兵庫工場へ搬入します。その後、線路を使って出荷します。

この匠、  
この技術

福本 利昭  
(プラント・環境カンパニー 生産本部  
製造部 工作課)

#### LNGタンク製造で培った技術をボイラ製造に活かす

福本氏は、LNGタンクの屋根を支える鉄骨の製作において、1作業あたりの必要時間を正確に計測し、作業効率を極限まで高めるとともに、ライン生産工法を考案するなど、コストダウン及び品質の安定確保に貢献しました。そのことが認められ、2010年、兵庫県より「職域における創意工夫表彰」を受賞しました。現在は、その技術を活用し、「プレリユード」向けボイラの製造に携わっています。



### 一部事業で増益となるも、世界経済の減速や円高の影響が大きく全体では減益

当第2四半期における世界経済は、米国の財政問題、欧州での債務問題などに加え、中国をはじめとする新興国経済の減速傾向もあり、全体では景気の下振れリスクが高まっています。また、国内経済では東日本大震災の復興需要が本格化しつつありますが、円高の長期化などに伴う輸出企業の減速リスクを抱えています。一方、将来のエネルギーのあり方への関心が高まるなか、当社グループが果たすべき社会的な役割はますます大きくなってきています。

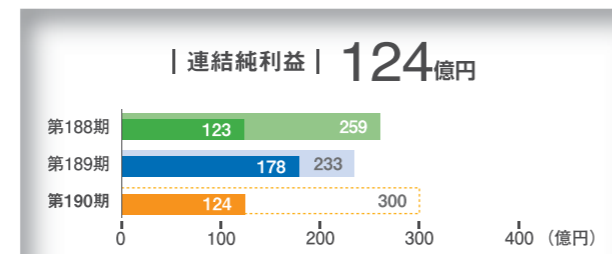
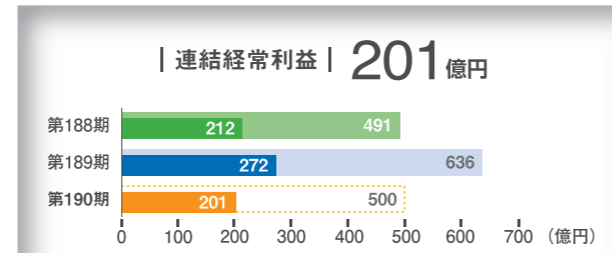
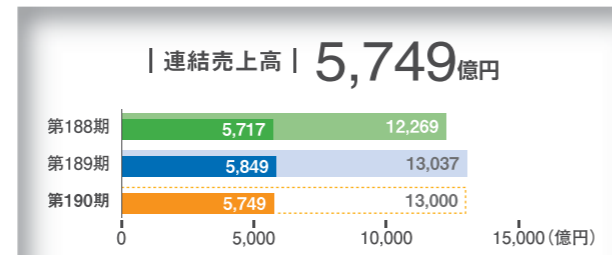
そうしたなか、当社グループの各事業は、売上高では航空宇宙事業などが増収となったものの、中国経済の影響を受けた精密機械事業や、プラント・環境事業の減収が大きく、全体では減収となりました。損益面でも、航空宇宙事業などが増益となったものの、精密機械事業や車両事業などの減益により、全体では減益となりました。この結果、当社グループの連結業績は、売上高5,749億円、経常利益201億円、四半期純利益124億円と、それぞれ前年同期を下回りました。

なお、通期につきましては、見通しを連結売上高1兆3,000億円、経常利益500億円、当期純利益300億円に修正のうえ、その達成に向け全力を傾注します。

※業績予想などは、合理的と判断するデータに基づいて作成し、10月31日に開示したものであり、リスクや不確定要素を含んでいるため、実際の業績は予想と異なる可能性があります。

■ 第2四半期(累計) / □ 通期

※ 第190期通期は予想数値



■ 第2四半期(累計) / □ 通期

※ 第190期通期は予想数値

### 船舶海洋事業

受注工事損失引当金の繰入額減少等により減収増益

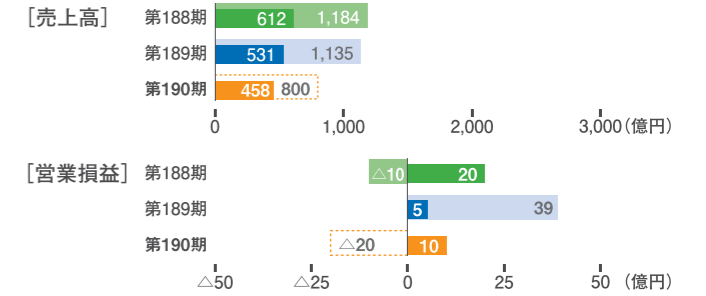
売上高は、大型のばら積み船の売上減少などにより前年同期を下回った一方、営業利益は、受注工事損失引当金の繰入額の減少などにより、前年同期を上回りました。



鉱石専用運搬船「SHAGANG VOLITION」

7.9%

売上高構成比



### 車両事業

受注工事損失引当金の繰入等により損失を計上

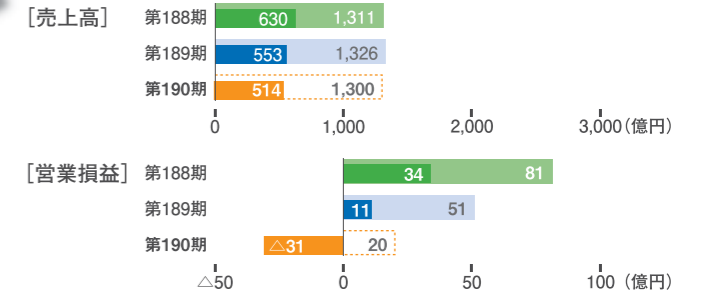
売上高は、海外向けの売上減少などにより前年同期を下回り、営業利益は、受注工事損失引当金の繰入などにより、損失を計上しました。



JR北海道向け733系通勤形交流電車

8.9%

売上高構成比



### 航空宇宙事業

防衛省向けの売上増加等により増収増益

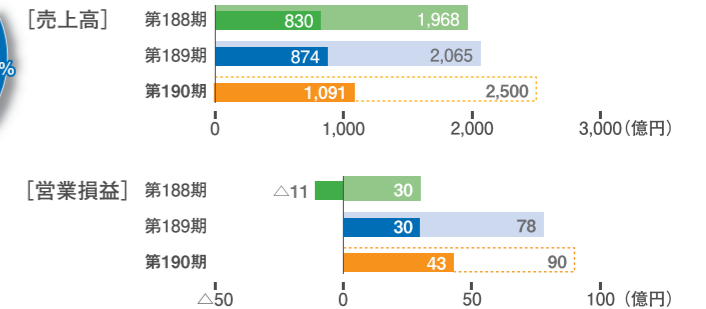
売上高は、防衛省向けやボーイング社向けの売上増加などにより前年同期を上回り、営業利益も、売上の増加やコスト削減などにより、前年同期を上回りました。



次期輸送機(XC-2)

18.9%

売上高構成比





■ 第2四半期(累計) / ■ 通期  
 ※ 第190期通期は予想数値

### ガスタービン・機械事業

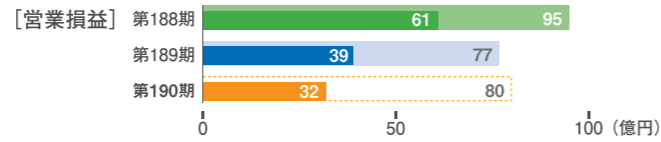
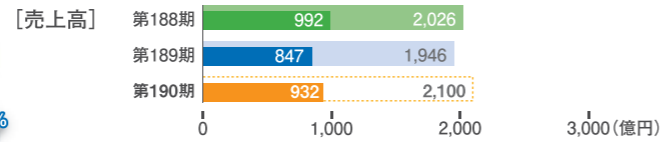
エネルギー関連製品等で  
 売上が増加したものの減益

売上高は、産業用ガスタービンや  
 ガスエンジンの売上増加などにより  
 前年同期を上回ったものの、営業  
 利益は、研究開発費の増加などにより、  
 前年同期を下回りました。



日本テクノ(株)袖ヶ浦グリーンパワー向け  
 ガスエンジン発電設備

売上高  
 構成比  
 16.2%



### プラント・環境事業

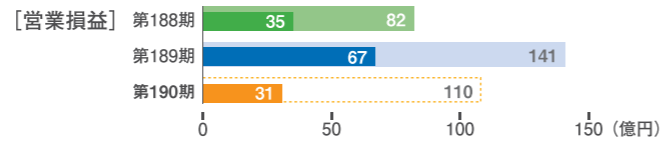
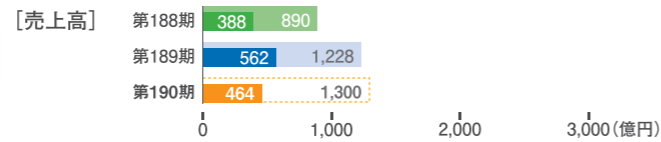
海外向け大型案件の  
 売上減少等により減収減益

LNG貯槽案件の売上増加などが  
 あったものの、海外向け大型案件  
 の売上減少により、売上高、営業  
 利益ともに前年同期を下回りました。



北海道ガス(株)  
 石狩LNG基地向けLNGタンク

売上高  
 構成比  
 8.0%



### モーターサイクル&エンジン事業

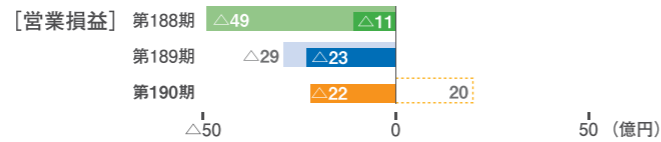
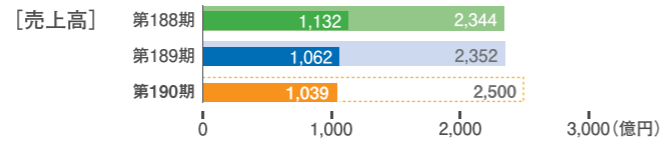
先進国向け二輪車の  
 販売減少等により減収

売上高は、新興国向け二輪車の  
 販売増加の一方、欧州における円  
 高の影響及び二輪車の販売減少  
 により前年同期を下回り、営業損  
 失は、前年同期並みとなりました。



Ninja 250(2013年モデル)

売上高  
 構成比  
 18.0%



### 精密機械事業

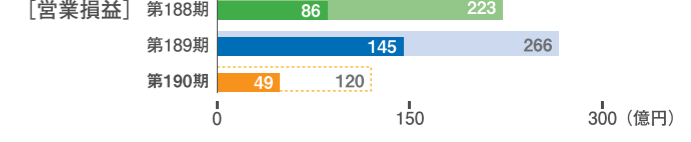
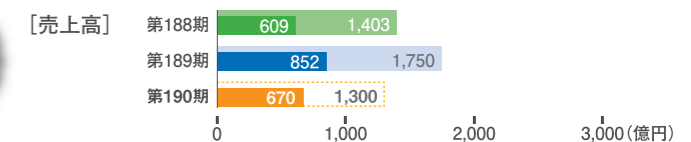
建機市場向け油圧機器の  
 売上減少等により減収減益

中国を中心とする新興建機市  
 場向け油圧機器の売上減少など  
 により、売上高、営業利益ともに  
 前年同期を下回りました。



産業機械用油圧機器 上:エコサーボ  
 左:大型油圧ポンプ 右:サーボジョック弁

11.6%  
 売上高  
 構成比



### その他事業

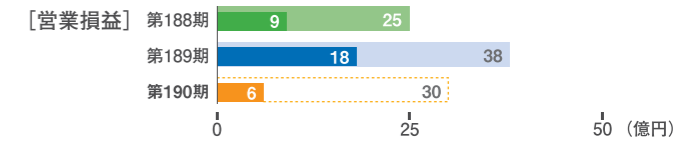
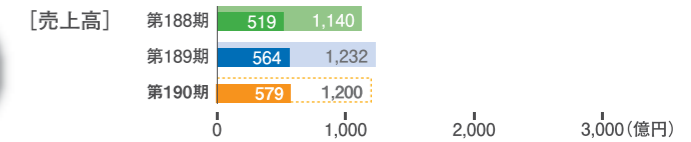
(建設機械の製造・販売、ビル等の管理、商業など)

売上高は、建設機械部門の売  
 上増加などにより前年同期を上  
 回ったものの、営業利益は、前年  
 度を下回りました。



カワサキホイールローダ「90Z7」

10.0%  
 売上高  
 構成比



### TOPICS / ブラジルでドリルシップ建造等の合弁事業に参画

当社は、ブラジルにおけるドリルシップ  
 (海底掘削船) 建造等の合弁事業への  
 参画(30%出資)を決定しました。  
 ブラジル近海では大規模な深海油  
 田が発見されており、ドリルシップなどの  
 需要が急伸しています。当社が出資  
 するESTALEIRO ENSEADA DO  
 PARAGUAÇU S.A.(EEP)社の工場

は2014年の竣工を予定しており、既に  
 Sete Brasil社よりPetrobras社(ブラ  
 ジル国営石油会社)向けのドリル  
 シップ6隻を受注しています。2016年  
 には1番船の竣工・引渡しを予定して  
 おり、今後、当社はEEP社を新たな  
 海外拠点と位置付け、同社での各種  
 船舶の建造に取り組んでいきます。



ドリルシップ(イメージ図) 画像提供:Gusto MSC

# 第190期第2四半期(累計)報告

連結財務諸表

科目		当第2四半期末	前期末
		平成24年9月30日現在	平成24年3月31日現在
資産の部	流動資産	955,301	967,186
	固定資産	425,594	394,953
	有形固定資産	285,433	274,750
	無形固定資産	18,436	18,786
	投資その他の資産	121,725	101,416
	資産合計	1,380,896	1,362,139
負債の部	流動負債	693,014	696,002
	固定負債	370,844	350,214
	負債合計	1,063,859	1,046,216
純資産の部	株主資本	338,947	335,270
	資本金	104,484	104,484
	資本剰余金	54,393	54,393
	利益剰余金	180,093	176,414
	自己株式	△25	△22
	その他の包括利益累計額	△32,520	△29,215
	その他有価証券 評価差額金	1,653	3,989
	繰延ヘッジ損益	2,579	246
	為替換算調整勘定	△36,753	△33,451
	少数株主持分	10,610	9,868
	純資産合計	317,037	315,922
負債純資産合計	1,380,896	1,362,139	

科目	当第2四半期累計期間	前年同期
	平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで	平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで
売上高	574,999	584,990
売上原価	488,593	485,826
売上総利益	86,406	99,164
販売費及び一般管理費	76,014	72,541
営業利益	10,391	26,623
営業外収益	13,744	8,308
営業外費用	3,969	7,694
経常利益	20,165	27,237
特別損失	-	924
税金等調整前四半期純利益	20,165	26,312
法人税等	6,629	7,254
少数株主損益調整前 四半期純利益	13,536	19,058
少数株主利益	1,107	1,245
四半期純利益	12,429	17,813

科目	当第2四半期累計期間	前年同期
	平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで	平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで
少数株主損益調整前四半期純利益	13,536	19,058
その他の包括利益	△3,236	△4,141
その他有価証券評価差額金	△2,362	△1,175
繰延ヘッジ損益	2,331	153
為替換算調整勘定	△2,519	△3,680
持分法適用会社に対する 持分相当額	△685	561
四半期包括利益 (内訳)	10,300	14,916
親会社株主に係る四半期包括利益	9,124	13,550
少数株主に係る四半期包括利益	1,176	1,366

科目	当第2四半期累計期間	前年同期
	平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで	平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	△19,487	32,572
投資活動によるキャッシュ・フロー	△46,172	△32,686
財務活動によるキャッシュ・フロー	59,287	△5,328
現金及び現金同等物の 四半期末残高	27,886	35,701

# 会社概要・株式の状況・大株主

創立	明治29年10月15日
資本金	104,484,658,872円
従業員	15,277名
本社	(神戸)神戸市中央区東川崎町1丁目1番3号 (東京)東京都港区浜松町2丁目4番1号

発行可能株式総数	3,360,000,000株
発行済株式総数	1,671,892,659株
株主総数	155,729名

株主名	所有株式数	比率
日本トラスティ・サービス	77,844,000株	4.65%
信託銀行株式会社(信託口)		
日本生命保険相互会社	57,516,659株	3.44%
株式会社みずほ銀行	57,443,650株	3.43%
JFEスチール株式会社	56,174,400株	3.35%
日本マスタートラスト	55,528,000株	3.32%
信託銀行株式会社(信託口)		
川崎重工共栄会	35,713,192株	2.13%
川崎重工業従業員持株会	33,561,217株	2.00%
SSBT OD05 OMNIBUS	32,549,700株	1.94%
ACCOUNT-TREATY CLIENTS		
東京海上日動火災保険株式会社	27,838,589株	1.66%
株式会社三井住友銀行	26,828,453株	1.60%





名古屋第一工場



名古屋第一工場アクセスMap

## 名古屋第一工場を見学しませんか？

### ■見学場所(名古屋第一工場)

当工場は、最新鋭の設備を多数導入し、ボーイング777及び787の胴体部の一部を製造しています。ボーイング社の現主力大型機と最新鋭機種、実はその製造工程は大きく異なります。ぜひその違いを現地でご覧ください！



ボーイング787

### ■工場見学会の概要

申込番号	日時	事業所
1	2013年3月12日(火) 9時より約3時間(予定)	[工場]名古屋第一工場 [所在地]愛知県弥富市
2	2013年3月12日(火) 14時より約3時間(予定)	[生産品目] 各種航空機の 主要構成品及び部品
3	2013年3月13日(水) 9時より約3時間(予定)	[集合・解散場所] 名古屋臨海高速鉄道 金城ふ頭駅(あおなみ線)
4	2013年3月13日(水) 14時より約3時間(予定)	

定員は各40名(同伴者を含みます。)



# 工場見学会が始まります！

川崎重工では、株主の皆様により一層当社への理解を深めていただくことを目的に、このたび「工場見学会」を開催することとなりました。今回は名古屋第一工場で開催いたしますので、本案内をご覧のうえ、この機会にぜひご応募ください。



## 応募要項

### ■対象者

2012年9月30日現在、当社株式1,000株以上をご所有の株主様ご本人(ご同伴者様1名まで可)  
※12歳未満の方のご見学には、必ず成人の方が同行してください。

### ■参加費

無料(但し、集合・解散場所までの往復交通費は株主様のご負担とさせていただきます。また、昼食のご用意はしておりませんのでご了承ください。)

### ■締切日 2012年12月21日(金) [必着]

### ■ご応募前の確認事項

- (1)ご応募多数の場合は、抽選とさせていただきます。厳正な抽選のうえ、結果はご応募いただいた株主様全員に、2013年2月中旬までに郵送にてお知らせいたします。
- (2)ご応募の際に、記載事項に漏れなどの不備がございます場合、無効とさせていただきます。
- (3)ご応募により当社が取得する個人情報、本工場見学会を実施するうえで必要な限りにおいてのみ使用いたします。
- (4)ご見学時は1時間程度(予定)の徒歩移動、バスの乗り降り及び階段の昇り降りがございますので、あらかじめご了承ください。
- (5)ご見学時は写真・ビデオ撮影はお断りさせていただいておりますので、あらかじめご了承ください。
- (6)株主様と、ご記載されたご同伴者様のみ参加できます。なお、当日は別のご同伴者様がお越しいただいても、手続きの関係上、ご見学いただけませんのであらかじめご了承ください。
- (7)当日は集合・解散場所の金城ふ頭駅周辺には駐車場がございませんので、公共交通機関でお越しください。また、工場へ直接ご来場いただけませんので、ご注意ください。

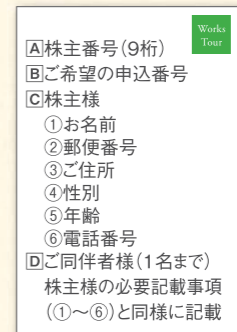
### ■応募方法

参加を希望される日時を上表の申込番号(1~4)からひとつだけお選びいただき、下記のとおり郵便はがきに応募券を貼り付け、必要事項を記入のうえ、ご応募ください。(郵送料につきましては株主様にてご負担くださいますようお願い申し上げます。)

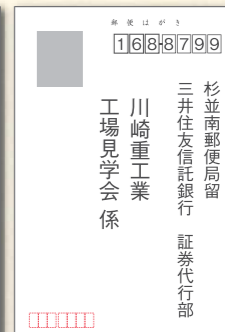


株主番号は本紙と一緒に同封されている送付票に記載しております。

応募券(左ページ)



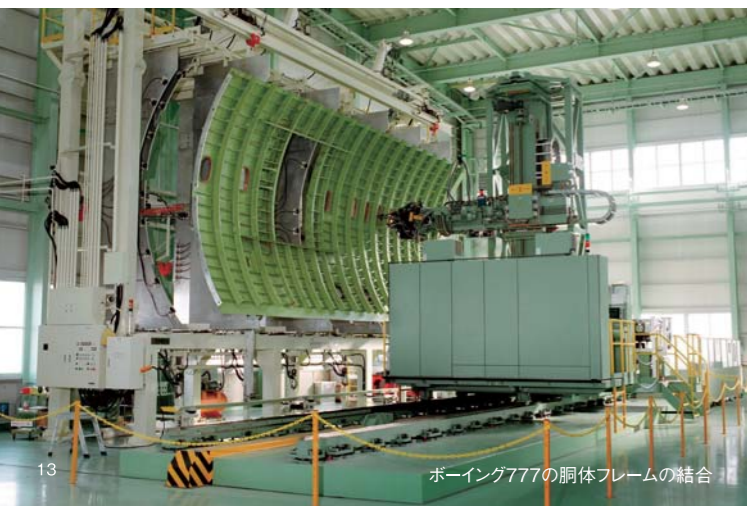
裏面



あて名面

お問い合わせ先  
(工場見学会専用)

川崎重工(株)株主名簿管理人  
三井住友信託銀行(株)証券代行部  
03-6743-3220  
営業時間 9時~17時(土・日・祝日除く)



ボーイング777の胴体フレームの結合



ボーイング787の胴体組立